

浸潤性膵癌や肝外胆管癌の診断・治療のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科では、上記の病気で受診された方の病理検体や診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

**本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、
下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。**

【研究課題名】

浸潤性膵癌・肝外胆管癌における内皮置換性脈管侵襲に関する病理組織学的研究

【研究の目的】

浸潤性膵癌や肝外胆管癌に対しては、様々な研究により予後不良となる原因が色々と指摘されています。その中の1つが脈管侵襲という因子で、血管やリンパ管内に腫瘍を認める所見です。当院で摘出された手術検体においても、組織の状態を詳しく調べています。このような脈管侵襲のうち、血管・リンパ管の内皮細胞を置き換えるように腫瘍細胞が広がる特異な形態を示す脈管侵襲を認める症例を集めて、どのような状況で特異な形態を示すのか、そして、腫瘍細胞と脈管壁との接着性に影響を及ぼしている可能性のある因子があるのかについて調べることを目的としています。

【対象となる方】

浸潤性膵癌や肝外胆管癌の患者さんで、2015年1月1日から2025年3月31日までに手術を受けられた方

【使用する検体・診療情報】

使用する検体や診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

検体：病理診断に使用したプレパラート及びブロック

カルテ情報：年齢、性別、手術日、腫瘍の部位・組織型、病期分類、病理組織学的所見、免疫組織化学、操作顕微鏡観察

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日〔2026年1月29日〕から2028年3月31日まで実施されます。

約50名の患者さんにご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

必要最低限の情報のみを収集し、お名前・住所などの患者さんを特定出来る個人情報は削除し、個人が特定できないような状態にして解析を行います。

収集したデータの管理・解析については、研究責任者が適切に保管・管理いたします。また、使用した検体

やカルテ情報を廃棄する際も、個人情報削除し廃棄いたします。

【データの保管】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないように厳重保管されます。本研究の中止・終了について報告された日から5年を経過した日または結果の最終公表された日から3年経過した日のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。

【結果の公表】

この研究の研究成果は学会での発表や・論文の投稿で公表する予定です。その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科 伴 慎一 (教授)

【問い合わせ先】

獨協医科大学さいたま医療センター 病理診断科 担当者： 椎名愛優 (助教)
〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50
TEL 048-965-8769 (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)

以上